



## 令和2年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

令和元年8月6日

上場会社名 株式会社ファルコホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 4671 URL <http://www.falo-hd.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安田 忠史  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理室副室長 (氏名) 大馬 久幸 TEL 075-257-8585  
 四半期報告書提出予定日 令和元年8月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 令和2年3月期第1四半期の連結業績（平成31年4月1日～令和元年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2年3月期第1四半期	10,911	△3.6	266	△16.9	300	△19.6	204	△2.0
31年3月期第1四半期	11,316	△2.5	321	△40.7	373	△36.4	208	△41.3

(注) 包括利益 2年3月期第1四半期 121百万円 (27.9%) 31年3月期第1四半期 95百万円 (△80.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2年3月期第1四半期	18.79	18.75
31年3月期第1四半期	19.10	19.08

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2年3月期第1四半期	32,304	18,173	56.0
31年3月期	32,124	19,014	58.9

(参考) 自己資本 2年3月期第1四半期 18,075百万円 31年3月期 18,916百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
31年3月期	—	23.00	—	23.00	46.00
2年3月期	—	—	—	—	—
2年3月期(予想)	—	23.00	—	23.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 令和2年3月期の連結業績予想（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,300	△4.2	750	△44.0	850	△47.9	500	△23.5	45.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2年3月期1Q	11,280,177株	31年3月期	11,280,177株
② 期末自己株式数	2年3月期1Q	727,285株	31年3月期	314,455株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2年3月期1Q	10,863,031株	31年3月期1Q	10,899,042株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績の改善や雇用環境の緩やかな回復が見られるものの、米中間の貿易摩擦の激化による中国経済の減速など、世界経済の不確実性は高まっております。また本年10月に予定されている消費増税に伴う影響など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く受託臨床検査市場では、診療報酬の改定の影響に加え、同業他社間の競争が激化しており、厳しい事業環境が続いております。また、調剤薬局市場では、調剤報酬及び薬価の改定による影響が大きく、より厳しい事業環境となっております。

当社グループでは、このような事業環境のもと、臨床検査事業及び調剤薬局事業の収益力の強化を図るとともに、将来の事業環境の変化を見据えた事業展開を進めております。

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間の売上高は10,911百万円(前年同期比3.6%減)、営業利益は266百万円(同16.9%減)、経常利益は300百万円(同19.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は204百万円(同2.0%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ① 臨床検査事業

臨床検査事業につきましては、売上拡大に向け、大都市圏を重点地域とした新規顧客の獲得を図るとともに、クラウド型電子カルテ「HAYATE/NEO」及び平成30年12月1日より保険適用となった「MSI検査キット(FALCO)」(※)の販売強化に取り組んでおります。

(※)局所進行性または転移性の高頻度マイクロサテライト不安定性(MSI-High)癌に対する効能・効果について、抗PD-1抗体キイトルダ®(一般名:ペムブロリズマブ)の適応を判定するための体外診断用医薬品で、世界で初めての癌腫横断的なコンパニオン診断薬。

臨床検査事業においては、コンパニオン診断薬「MSI検査キット(FALCO)」の売上が増加したものの、平成31年2月に発生した火災の影響により臨床検査の受託検体数が大きく減少いたしました。このため、臨床検査事業の売上高は6,637百万円(前年同期比6.9%減)、営業利益は99百万円(同74.0%減)となりました。

#### ② 調剤薬局事業

調剤薬局事業につきましては、堅実な店舗運営を推進しつつ、既存店舗の処方箋応需の拡大及び店舗運営の効率化に取り組んでおります。また、かかりつけ薬剤師・薬局として求められる役割・機能を果たすとともに、高齢者施設及び在宅を中心とした地域医療との連携を進めております。

当第1四半期連結累計期間において、1店舗を開局、3店舗を閉局、既存1店舗をフランチャイズ化したことにより、当第1四半期連結会計期間末における当社グループが運営する調剤薬局店舗総数は108店舗(フランチャイズ店6店舗含む)となりました。

調剤薬局事業においては、店舗数減少等の影響により処方箋枚数の減少したものの、処方箋単価の上昇により、売上高は4,270百万円(前年同期比1.9%増)となりました。また、営業利益は薬価改定の影響があった前年同期より増加し、231百万円(同1093.6%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産は、主に有形固定資産が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ180百万円増加し、32,304百万円となりました。

負債は、主に仕入債務の増加により、前連結会計年度末に比べ1,021百万円増加し、14,130百万円となりました。

また、純資産は、配当金の支払いや自己株式の取得により、前連結会計年度末に比べ840百万円減少し、18,173百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和2年3月期の連結業績予想につきましては、令和元年5月10日の「平成31年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成31年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和元年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,843	6,731
受取手形及び売掛金	6,301	6,076
商品及び製品	1,116	1,365
仕掛品	77	80
原材料及び貯蔵品	385	391
その他	1,603	2,126
貸倒引当金	△9	△8
流動資産合計	17,318	16,762
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,526	9,238
減価償却累計額	△5,056	△5,104
建物及び構築物(純額)	3,469	4,134
土地	4,750	4,750
リース資産	507	830
減価償却累計額	△468	△482
リース資産(純額)	39	348
その他	6,100	5,770
減価償却累計額	△5,018	△5,028
その他(純額)	1,082	742
有形固定資産合計	9,341	9,974
無形固定資産		
のれん	91	83
その他	525	505
無形固定資産合計	616	589
投資その他の資産		
その他	4,871	5,001
貸倒引当金	△23	△23
投資その他の資産合計	4,847	4,978
固定資産合計	14,805	15,542
資産合計	32,124	32,304

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成31年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和元年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,389	5,066
短期借入金	1,900	2,100
未払法人税等	123	116
引当金	557	212
その他	2,722	3,436
流動負債合計	9,693	10,932
固定負債		
長期借入金	403	403
引当金	188	210
退職給付に係る負債	1,958	1,954
資産除去債務	152	154
その他	713	476
固定負債合計	3,415	3,198
負債合計	13,109	14,130
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,371	3,371
資本剰余金	3,391	3,391
利益剰余金	12,486	12,432
自己株式	△499	△1,203
株主資本合計	18,749	17,991
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	166	84
その他の包括利益累計額合計	166	84
新株予約権	98	98
純資産合計	19,014	18,173
負債純資産合計	32,124	32,304

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年6月30日)
売上高	11,316	10,911
売上原価	8,023	7,757
売上総利益	3,293	3,153
販売費及び一般管理費	2,972	2,886
営業利益	321	266
営業外収益		
受取配当金	33	43
貸倒引当金戻入額	0	0
その他	22	18
営業外収益合計	56	63
営業外費用		
支払利息	2	2
支払手数料	1	5
支払補償費	—	16
その他	0	5
営業外費用合計	3	29
経常利益	373	300
特別損失		
固定資産除却損	3	0
減損損失	—	0
検査再構築費用	—	13
特別損失合計	3	14
税金等調整前四半期純利益	369	285
法人税、住民税及び事業税	166	102
法人税等調整額	△5	△20
法人税等合計	161	81
四半期純利益	208	204
親会社株主に帰属する四半期純利益	208	204

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成31年4月1日 至 令和元年6月30日)
四半期純利益	208	204
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△113	△82
その他の包括利益合計	△113	△82
四半期包括利益	95	121
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	95	121



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	臨床検査 事業	調剤薬局 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,124	4,192	11,316	—	11,316
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3	0	3	△3	—
計	7,128	4,192	11,320	△3	11,316
セグメント利益	381	19	400	△79	321

(注) 1. セグメント利益の調整額△79百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△348百万円及び内部取引の消去に伴う調整額268百万円が含まれております。全社費用は、主に人事・経理部門等の管理費用及び建物の減価償却費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成31年4月1日至令和元年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	臨床検査 事業	調剤薬局 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,634	4,269	10,903	7	10,911
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3	0	3	△3	—
計	6,637	4,270	10,907	3	10,911
セグメント利益	99	231	331	△64	266

(注) 1. セグメント利益の調整額△64百万円には、報告セグメントに帰属しない売上高7百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△311百万円及び内部取引の消去に伴う調整額240百万円が含まれております。全社費用は、主に人事・経理部門等の管理費用及び建物の減価償却費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。